

**大口径中望遠単焦点レンズ“RF85mm F1.2 L USM DS”を発売
キヤノン独自の蒸着技術により大きく滑らかなボケ描写を実現**

キヤノンは、「EOS R システム」の核となる交換レンズ「RF レンズ」の新製品として、レンズ内の光の透過率を変化させる蒸着技術「DS コーティング」により美しいボケ表現を追求した大口径中望遠単焦点レンズ“RF85mm F1.2 L USM DS”を2019年12月下旬より発売します。



RF85mm F1.2 L USM DS

“RF85mm F1.2 L USM DS”は、描写性能や操作性、堅牢性^{けんろう}などにおいて最高水準の性能を追求した「L (Luxury) レンズ」です。焦点距離85mmの単焦点レンズは、被写体に圧迫感を与えず適度な撮影距離を保つことができるため、ポートレート撮影を中心に強いニーズがあります。中望遠単焦点レンズとして圧倒的な高画質を実現した「RF85mm F1.2 L USM」(2019年6月発売)に加え、キヤノン独自の「DS (Defocus Smoothing) コーティング」を採用することで柔らかなボケ表現が可能な本製品を提供することで、ユーザーの多様なニーズに応え「EOS R システム」の魅力を高めます。

■ 「DS コーティング」と開放F値1.2の大口径による美しいボケ描写

レンズの中心部から周辺に向け、徐々に透過率を下げながら光を遮る効果を持つ蒸着技術「DS コーティング」をレンズの2面に採用しています。「DS コーティング」効果と開放F値1.2の大口径により、ボケ像が大きく輪郭が柔らかくなるため、滑らかで美しいボケ表現が可能です。

■ 焦点距離85mmのキヤノン製交換レンズにおいて最高レベル^{*1}の画質を実現

EFマウントと同じ内径54mmという大きなマウント径と、ミラーレスカメラならではのショートバックフォーカス^{*2}というRFマウントの特長がもたらすレンズ設計の自由度の高さを生かし、絞り開放時においても画面の中心部から周辺部まで圧倒的な高画質を実現しています。また、キヤノン独自開発の「BR レンズ^{*3}」と「UD レンズ^{*4}」の組み合わせにより、大口径レンズに出やすい色にじみを大幅に抑制し、極めて高水準の色収差補正を実現しています。

■ 撮影環境の変化に対応する快適な操作性と耐久性に配慮した設計

フォーカスリングに加え、露出補正や絞り数値の設定などを任意に割り当てて使用可能なコントロールリングを搭載しており、撮影環境に応じて直観的で快適な操作ができます。また、Lレンズに相応しい耐久性と耐振動衝撃性に配慮した設計となっています。

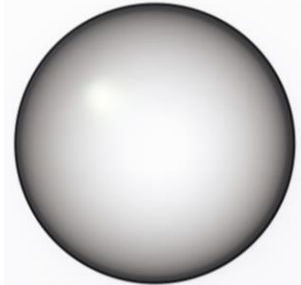
製品名	希望小売価格	発売日
RF85mm F1.2 L USM DS	オープン価格	2019年12月下旬

※1 2019年10月24日までにキヤノンが発売した、焦点距離85mmのレンズ交換式カメラ（一眼レフカメラ・ミラーレスカメラ）用オートフォーカス交換レンズとの比較において、絞り開放時に最高レベルの光学性能（MTF）を実現。
 ※2 無限遠に焦点を合わせたときの、最後部のレンズ面の頂点から撮像面までの光軸上の距離が短いこと。
 ※3 有機光学材料「BR (Blue Spectrum Refractive) 光学素子」を凹凸のガラスレンズで挟み合わせたキヤノン独自の複合レンズ。
 ※4 「UD (Ultra Low Dispersion = 特殊低分散) ガラス」を用いたキヤノン独自のレンズ。

<主な特長>

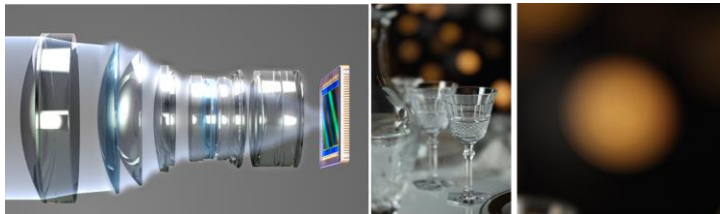
1. 「DS コーティング」と開放 F 値 1.2 の大口径による美しいボケ描写

- ・レンズの中心部から周辺に向け、徐々に透過率を下げながら光を遮る効果を持つ蒸着技術「DS コーティング」を採用。
- ・「RF85mm F1.2 L USM」(2019 年 6 月発売) と同等の優れた光学系に「DS コーティング」を施し、レンズ内を通過する光の量を調整。「RF85mm F1.2 L USM」の特長である高解像力、高コントラストを継承しながら、ボケ像の輪郭を柔らかくぼかし、滑らかで美しいボケ描写を実現。ラインアップの追加によりボケ表現の選択肢が拡大。
- ・効果を最大限に引き出すために、レンズの前側と後ろ側の 2 面に「DS コーティング」を採用し、画面全域において美しいボケ表現が可能。前ボケ/後ボケともに効果を発揮。
- ・開放 F 値 1.2 の大口径により、大きく美しいボケ味を楽しむことが可能。



「DS コーティング」を施したレンズ

RF85mm F1.2 L USM DS



【DS コーティングありの場合】

レンズの中心から周辺に向けて透過率を下げ、徐々に通る光の量が少なくなり、輪郭が柔らかく滑らかなボケになる。

RF85mm F1.2 L USM (2019 年 6 月発売)



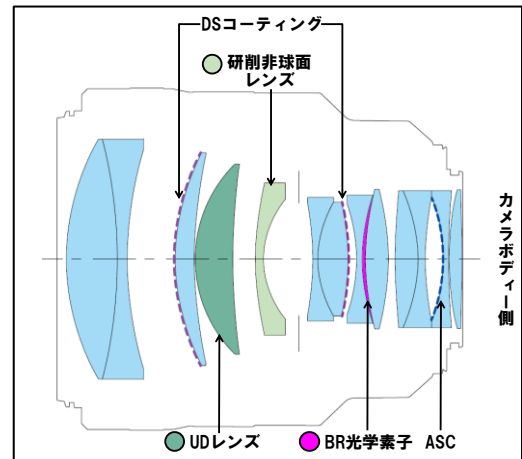
【DS コーティングなしの場合】

レンズ全域で透過率が均等であるため、点光源を撮影した際、輪郭がはっきりとしたボケになる。

「DS コーティング」効果

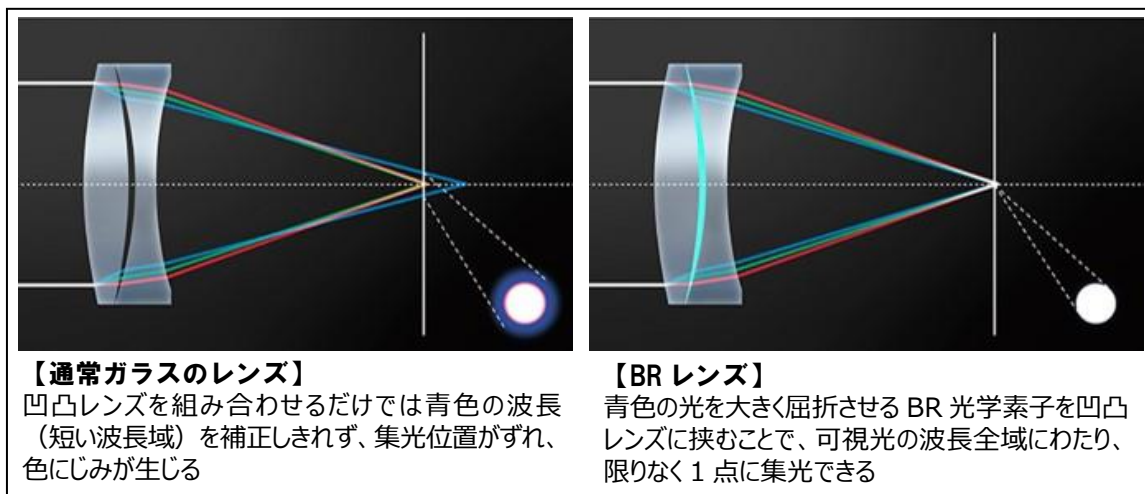
2. 焦点距離 85mm のキャノン製交換レンズにおいて最高レベルの画質を実現

- ・EF マウントと同じ内径 54mm という大きなマウント径と、ミラーレスカメラならではのショートバックフォーカスという RF マウントの特長がもたらす高いレンズ設計の自由度を生かし、焦点距離 85mm のキャノン製交換レンズにおいて最高レベルの画質を実現。
- ・BR レンズ (BR 光学素子を凹凸のガラスレンズで挟み合わせて構成) 1 枚、UD レンズ 1 枚、研削非球面レンズ 1 枚の特殊光学材料を含む、9 群 13 枚の光学系を採用。口径の大きなレンズをカメラの撮像面に近い位置に配置することにより、焦点距離 85mm かつ開放 F 値 1.2 というハイスペックと高画質を両立。
- ・最短撮影距離 0.85m を実現。被写体に近寄り、美しいボケ味を生かした魅力あるクローズアップ撮影が可能。



「RF85mm F1.2 L USM DS」の光学構成図

- ・レンズの材料を分子構造設計から見直して開発した有機光学材料「BR（Blue Spectrum Refractive）光学素子」を凹凸のガラスレンズで挟み合わせた、キヤノン独自の複合レンズ「BR レンズ」を採用。BR 光学素子は、青色（短い波長域）の光を大きく屈折させる特殊分散特性を備えており、これまで1点に集光することが困難だった可視光の波長全域を限りなく1点に集光させることができるため、極めて高水準の色収差補正を実現。
- ・キヤノン独自開発の「BR レンズ」と「UD レンズ」の組み合わせにより、大口径レンズに出やすい色にじみを大幅に抑制し、極めて優れた色収差補正を実現。



通常ガラスと「BR レンズ」の違い

- ・特殊コーティング技術「ASC（Air Sphere Coating）」を採用。これにより、画質劣化の原因となるフレアやゴーストを抑制。
- ・絞り開放時においても画面中心から周辺部まで高解像・高コントラストな描写性能を達成。

3. 撮影環境の変化に対応する快適な操作性と耐久性に配慮した設計

- ・フォーカスリングに加え、露出補正や絞り数値の設定などを任意に割り当てて使うことができるコントロールリングを搭載。電子ビューファインダー（EVF）で撮影後のイメージを確認しながら、コントロールリングを操作することで、より直感的で快適な操作が可能。
- ・L レンズに相応しい耐久性や耐振動衝撃性に配慮した設計。マウント部、スイッチパネル、コントロールリング、フォーカスリングには防じん・防滴構造を採用*。
- ・レンズ最前面と最後面に油や水滴が付着しにくいフッ素コーティングを採用。レンズに付着した油分なども溶剤を使わずに乾いた布などで簡単に除去することが可能。



コントロールリングの使用イメージ

※ 防じん・防滴に配慮した構造になっていますが、砂じんや水滴などの侵入を完全に防ぐことはできません。

<主な製品仕様>

製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。